



特別の教科 道徳の授業の様子を、道徳通信でお伝えします。今回は、2年1組です。

「なかよしだけど」 ～礼儀～

友達の家遊びに行った登場人物の行動に対する違和感について考えることを通して、相手も自分も気持ちよく過ごすために大切なことは何か、について話合いました。

相手が困らないように、約束の時間を守った方がよい。

くつがそろっていない。

T「何か、変だな」と思った友達の行動は？

T「相手も自分も気持ちよく過ごすために大切なことは？」

なかよしの友達でも、礼儀正しくした方が相手も自分も気持ちよい。

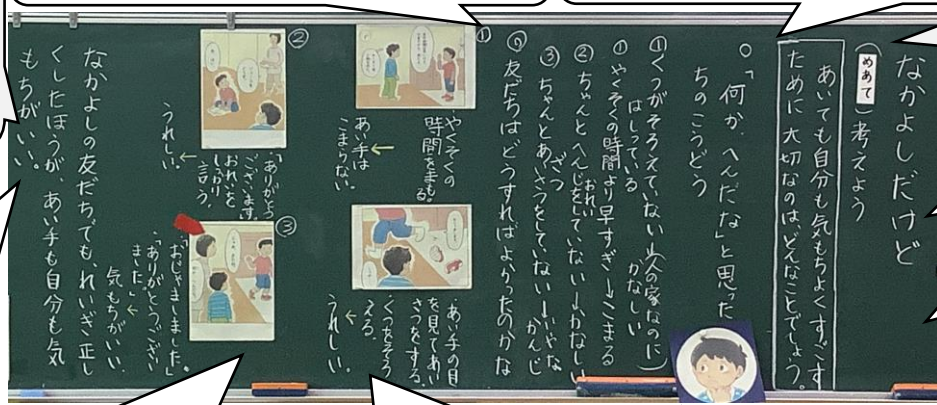
人の家なのに走っている。

約束の時間より来るのが早すぎる。

挨拶をしていなくて、嫌な感じがする。

ちゃんとお礼を言っていない。

友達の家の人困ってしまう。



グループで4つのうち、1つの場面を選び、「どうすれば、お互いに気持ちよく過ごせるのか」について議論し、発表しました。



お話の中の友達は、どうすればよかったのか。～子どもたちの考え～

- ・約束の時間に来て、靴もそろえて、走らなければよかった。
- ・何かをもらったら、「ありがとう」とお礼を伝える。
- ・遊びに行ったら、帰るときには「お邪魔しました」と言う。
- ・約束の時間を守らないと、相手が困ってしまうから、時間を守る。
- ・ジュースを出してもらったら、嬉しい気持ちをしっかりと伝えたほうがよい。
- ・玄関で、靴をそろえたほうがよい。